

藤岡市議会だより

◆発行日 平成23年8月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 有限会社大石印刷
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第55号

正・副議長 決まる
5月臨時会において正・副議長が決まりました。



副議長
冬木 一俊



議長
吉田 達哉

就任にあたって

市民の皆様へ就任のご挨拶を申し上げます。

市政の推進につきましましては、日頃より市民の皆様方の深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、平成23年第2回藤岡市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により私どもが議長・副議長に就くことになり、その重責と使命の重大さを痛感している次第でございます。

3月の東日本大震災から5カ月が経過いたしました。が未だに復興への明確な道筋は見えてきません。また、地方においても経済の停滞は大きな問題です。

私たち藤岡市議会としても、行政のチェックだけでなく、知恵を出し合っって様々な問題解決に取り組まなければなりません。なにとぞ、市民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

6月定例会のあらまし

定例会は、6月14日から6月27日までの14日間の会期で開催されました。

藤岡市税条例の一部改正についてなど9議案が提出されました。

- ◇14日 本会議、会期の決定
- 市長提出議案8件を即決。
- ◇17日 教務厚生常任委員会
- ◇22日 本会議 一般質問。
- ◇27日 本会議 追加議案1件を即決。

議会運営委員会(8名)

議会運営委員会及び常任委員会の委員が選出される



◎委員長
○副委員長

渡辺 徳治
佐藤 淳
齊藤 千枝子
岩崎 和則

反町 清
渡辺 新一郎
青木 貴俊
隅田川 徳一

◎委員長
○副委員長

青木 貴俊
反町 清
針谷 賢一
斉藤 千枝子

◎ ○
久保 信夫
神田 和生
松村 晋之
吉田 達哉

総務常任委員会(8名)



所管

企画部、総務部、鬼石総合支所（総務課）、会計課、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項

◎委員長
○副委員長

大久保 協城
渡辺 徳治
橋本 新一

◎ ○
佐藤 淳
高桑 藤雄
岩崎 和則
冬木 一俊

経済建設常任委員会(7名)



所管

経済部、都市建設部、上下水道部、鬼石総合支所（にぎわい観光課）及び農業委員会に関する事項

教務厚生常任委員会(7名)

◎委員長
○副委員長

山田 松本 渡辺
田 啓 新一
朱 太 郎
美 郎

◎ 窪田 野口 茂木
○ 行隆 靖 光雄
隅田川 徳一



所管

市民環境部、健康福祉部（福祉事務所）、鬼石総合支所（住民サービス課）、藤岡市国民健康保険
鬼石病院及び教育委員会に関する事項

6月定例会 一般質問

防災対策について

窪田 行隆

問 災害に備え、藤岡市に災害ボランティアの常設組織を作るべきと考えますが、伺います。

答 藤岡市ボランティアネットワークセンターの情報バンクを活用し、経験者の協力を得て進めていきたい。

問 被災者支援システムの導入で災害時の被災者支援がスムーズに行えますが、早急に導入すべきと考えますが、伺います。

答 早い時期に本市に合ったシステムを導入する方向で考えていきます。

問 事業継続計画は災害時に非常時優先業務を開始するための計画です。早期に策定するべきと考えますが、伺います。

答 実効性のある内容となるよう協議してまいります。

問 市役所本庁舎は老朽化が進んでおり、耐震化の検討を始める必要がありますが、伺います。

答 庁舎の耐震診断結果を見て、耐震改修の費用対効果など、模範的な新庁舎建設など、全体的な選択を排除しないようにしていきたい。

中で検討していきます。

学校教育について

問 猛暑による教室の暑さは、子どもの健康上問題です。教室にひさしを付けて直射日光を防ぐ、屋上に熱交換塗料を塗り、温度上昇を防ぐ等の対策を取るべきと考えますが、伺います。

答 提案の手法を参考に、より良い学校環境づくりに取り組んでいきたい。

問 40度近い酷暑になると対策にも限界があります。猛暑が予想される日は短縮授業とする、また、室温が30度を超えたら授業を打ち切る等、柔軟に対処すべきと考えますが、伺います。

答 場合によっては授業を打ち切って下校させるという措置も必要になると考えられます。

問 学校指定体育着の購入は保護者にとつて大きな負担です。リサイクルの仕組みを作るべきと考えますが、伺います。

答 各学校でニーズ等を把握し、保護者の意見を取り入れて、再利用方法などについて検討するよう指導していきたい。

給食センターの 建て替えについて

山田 朱美

問 学校給食共同調理場方式と自校方式のメリットについて伺います。

答 共同調理場方式のメリットとしては人件費の削減、大量仕入れによる食材費の低減、維持管理コストを抑える等財政負担が少なく済むと考えられます。自校方式のメリットとしては地産地消を推進し、調理後直ちに提供することができ、き

め細やかな対応ができます。高崎市では自校方式での調理場整備を進めています。



問 給食センター建て替えに向けての進捗状況と、今後の具体的な計画について伺います。

答 藤岡市学校給食センター運営委員会において、「学校給食センターのあり方について」意見を伺い、また、教育委員会定例会においても教育委員の意見を伺いました。その後、教育委員会事務局で「給食センターの今後の進め方」について協議をし、今後は、教育委員会、学校給食センター運営委員会からの意見を踏まえ、平成23年度実施計画に計上し、基本設計、用地取得、実施設計、建設工事と、事業を進めていきたいと考えています。

公民館の役割りと 活動内容について

問 公民館の役割りについて伺います。

答 公民館の目的は地域住民のために、教育・学術・文化に関する事業を実施し、生活・文化の振興、社会福祉の増進に寄与することであり、その目的を達成するため、定例教室及び短期教室、各種講座を実施しています。これらの活動を通して、市民の皆様が集い・学び・協力しあう「心の広場」として

問 鬼石公民館と他の公民館の違いと今後のあり方について伺います。

答 組織上鬼石公民館は鬼石分室の一係であり、他の公民館とは異なります。また、館長が不在であります。どの公民館でも同一步調が取れることが望ましく、合併して5年を経た現在、業務内容を見直し、鬼石分室と公民館のあり方を検討していく必要があると考えています。

観光対策について

岩崎 和則

問 藤、桜、藤岡市の花の二大シンボルの活用による街道づくりについて伺います。

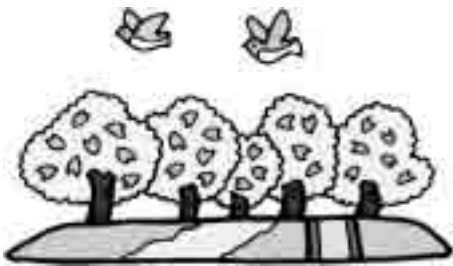
答 花の活用によるまちづくりについては、現在、ボランティアで桜を植樹し、花街道づくりを勧めている市民有志の団体があるということは承知しています。市としても、こうした市民の活動を支援し、官民一体となった地域づくりを推進していきたい

と考えています。

問 観光地を訪れて、目的地に行くのに重要な情報源になるのが観光客に見やすくわかりやすい観光案内看板であります。どのような取り組みをしてきたのか、市全体の目的別、統一性を持ったサイン計画についてはどのように推進してきたのか伺います。

答 統一されたものになっていないのが現状です。提供すべき情報が増えていく中で、観光客を適切に、

目的地まで誘導できるような案内看板の設置について、研究していきたいと考えています。



問 観光振興計画、これらのプロジェクトチームを作ったいただき、進めていただきたいが、市の考えを伺います。

答 観光振興につきましては、農業と一体となった振興ということで、商工観光課だけではなく、経済部農林課と連携を図っております。また、施設整備等ということになりますと、公園等の整備でも都市建設部と連携を図りながら事業を進めていくということで、観光については商工観光課だ

けではなく、関連したところと一緒に、今現在検討を進めているところですが、今年は群馬デザインエキスポキャンペーンが行われますが、これを契機として、より一層関係者の方々と観光振興を図っていききたいと考えております。



北藤岡駅周辺土地区画
整理事業について

渡辺 新一郎

問 現在の進捗状況について伺います。

答 本年3月末までの進捗状況でありますが、移転建物等が95棟で48%、道路の築造工事の延長は約3222メートルで約41%、事業費ベースでの進捗率は約39%です。

問 25・2ヘクタール以外の開発について伺います。

答 当初計画の92・7ヘクタールを25・2ヘクタールに縮小したことによる残りの67・5ヘクタールの市街化区域につきましても、学校周辺の通学路の危険箇所や沿道の土地利用状況、道路改良等を



実施していく考えです。また、現在施工している区域に、ある程度完成のめどがついた時点で、新たな施工区域を定めていく予定です。

問 今までの事業費について伺います。

答 事業計画の変更認可により、総事業費は61億円となり、平成22年度末で24億円、残り37億円で事業を進めています。

東日本大震災について

問 市内の民間及び公共施設

設の被害状況について伺います。

答 民間の被害状況は屋根瓦の破損、ブロック、墓石の倒壊等、合計78件です。公共施設の被害状況は清掃センター職員棟の壁の破損及び天井パネルの落下、美九里西小学校の教室の天井パネルの落下、桜山公園休憩所の瓦及びガラスの破損、計4施設、6件です。

問 三名湖、鮎川湖の災害復旧工事について伺います。

答 鮎川湖は災害復旧工事が完了。三名湖の大谷池については、国直轄事業で施設の点検調査、安全性の確認などを実施し、秋以降に工事を発注し、今年度内の完成に向けて事業を進めている。

問 野菜の風評被害について伺います。

答 3月21日から4月8日までの損害額はハウレン草47件で4186万6000円、かき菜59件で、1301万9000円です。

集中豪雨対策について

斉藤 千枝子

問 道路の透水性舗装について伺います。

答 強度の問題などから、車道は試験的な段階です。藤岡市においても近年整備した歩道は基本的には透水性舗装です。

問 総合学習センターの雨水対策について伺います。

答 駐車場はオンサイト貯留で敷地内の雨水は処理できます。地域対策と

して外周道路のU字溝が一杯になるとセンター内の調整池に流れ、さらにクレイ広場に水がたまるようになっていきます。

問 民間の開発事業についての指導について伺います。

答 雨水処理については、放流先の排水能力が十分な場合、開発面積が10000㎡以上50000㎡未満では降水一時間当たり約60ミリで算出した流出量を30分貯留できる容量、50000㎡以上では1時間貯留できる容量

の調整池を設置するよう指導しています。



問 雨水利用は、屋根などに降った雨を貯めて利用する事です。効果は、流出抑制で洪水防止や節水、非常用水として利用できます。集中豪雨発生で道路の浸水が多発するようになり、家庭の雨水利用タンクに補助金を出して

いる自治体が多くある。藤岡市も行うべきと考えますが、伺います。

答 事業の1つとして合併浄化槽への転換事業があります。単独浄化槽を雨水貯留槽としての再利用も可能ですが、まれな事例となっています。先進地の事例を調査、研究していきたいと考えます。

期日前投票について

問 期日前投票会場で宣誓書を書かなくてはならないが、業務の簡素化や

選挙人が投票しやすい環境とする為に、投票所入場券の裏面に宣誓書を印刷し、事前に記入して来られる様にしたいと考えています。

答 導入事例を研究し、導入時期を検討したいと思うが、システム改修費など、比較、検証しなければならぬと考えています。

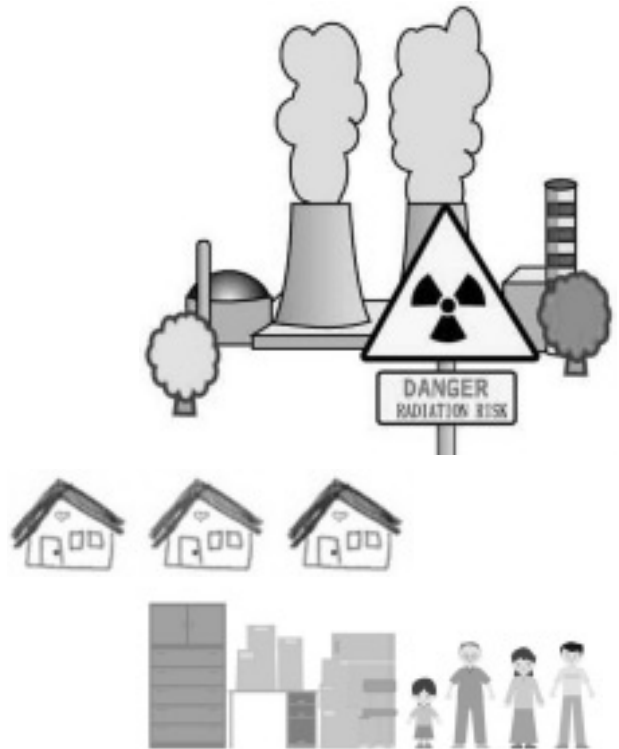


東日本大震災と福島
第一原子力発電所事故に
対する取り組みについて

橋本 新一

問 被災者支援に、空き家になっていく民家を活用する方策は考えられないか伺いたい。

答 避難生活が当初の想定より長期になる様相の方々には、今後の避難生活の考え方を個々に聞いた上、関係部署と協議し、空き家の紹介も含めて、できる限りの支援を行いたい。



学校給食について

問 給食の無料化をどのようにとらえているのか伺いたい。

答 群馬県内では少子化対策、子育て支援対策の一環として、給食費の免除を行っているところもあるが、給食費は学校給食法の規定により保護者の負担となっており、市の財政状況を考慮すると、給食費の無料化は現時点においては考えていない。



耐震診断とリフォーム
助成制度について

渡辺 徳治

問 先日、広報で耐震診断を行う旨の広告がありました。その結果、何件出されたのか、どう評価しているのか伺います。併せて、リフォーム助成制度についても伺います。

答 この問題については、先の議会でも、私はリフォーム助成制度は、経済効果も、市民の皆さんにも喜ばれる事なのでぜひ進めてほしいと申し述べました。当時群馬県では、一、

二の自治体での実施の状況でしたが、この間に、群馬県での変化は大きく4市4町が行っています。費用の10%から30%、10万円から20万円の補助を行うという内容になっています。藤岡市はどのようになっているか質問します。

答 藤岡市は、平成20年3月に策定した藤岡市耐震改修促進計画に定める建築物耐震化の支援策として、市内に存する昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築された木造住宅

の耐震化を推進するため、同年10月に藤岡市木造住宅耐震診断事業を改正しました。当該事業は要件を満たした木造住宅の所有者に対し、市が国の補助を活用して耐震診断技術者を派遣し、一般耐震診断を行い、その結果を通知する事業となっています。

今年度は9件の募集に対し、今現在、5件の申し込みとなっています。件数が少ない原因は、本市の被害におきましても、屋根棟瓦の崩れを見ましたが、建物の構造自体ま

で影響しなかったことが考えられます。2つ目の原因は、耐震診断だけを実施しても、不安が募るだけで、耐震改修工事には多額の費用がかかるので、耐震診断自体を受けることを思いとどまってしまうことが考えられます。

このような問題を解消し、木造住宅の耐震化を促進する有効策の一つとして、木造住宅耐震改修助成事業の創設が考えられます。既に県内の自治体で耐震改修工事に対する助成制度を実施しております。本市におきましても、補

助事業の導入について、今現在検討を始めているところですが、



節水・節電対策について

茂木 光雄

問 夏場の節電・節水の対策について伺いたい。

答 藤岡市の節電目標は15%以上と定め、節電行動計画を各施設から提出してもらい実施していく方針である。今のところ60施設のうち39施設分が出ており、小・中学校が未提出となっている。一律15%削減と言いましても浄水場は5%の削減のところ5・4%、病院は

節電不要だが7%、偕同苑は10%以上と、他につきましては、15%の制限がありますけれどもそれを超える率で協力を願っているのが、現在出てきている節電行動計画の内容です。次に節水対策ですが、喝水による10%取水制限が行われた場合は、まず地下水水源のポンプの運転調整を行い、地下水源により不足する水量の確保を図ります。次に市民大口需要者、市有施設へ文書や広報車による節水依頼を行います。過去平成6年と平成8年に30

%取水制限がありましたが大口需要者のバルブを締めさせていただき、直接市民の方への影響はありませんでした。



新エネルギービジョンについて

問 藤岡市地域新エネルギービジョンが現在どうなっているのか伺いたい。

答 ひょうたん池とだるま池に、また、ふじの咲く丘及びみかほみらい館に太陽光発電システム導入を平成20年2月に計画したが、発電効率が悪い、市民等の憩いの場所に設置するのはいいかなものか等々の理由により実施していない。今後の課題として、太陽光発電の蓄電池の性能がよくなり、安くなってくれば、それを採用し、みかほみらい館に設置したり、今回の東日本大震災を教訓として、太陽光発電だけで足りるのか実際に設置する場合には十

分検討を加えていきたい。新エネルギービジョンがない限り、NEDO等の補助金が受けられないため策定し、エネルギー問題に取り組むというこ

第4次藤岡市総合計画について

大久保 協城

問 藤岡市を目的別にエリア分けをして事業実施を進めておりますが、具体的な説明と進捗について伺います。

答 市街地ゾーンでは、北藤岡駅周辺土地区画整理事業や都市計画道路の整備を計画的に進めております。産業ゾーンでは、藤岡北部工業団地や三本木工業団地の開発、造成に取り組んで参りました。

農用地地域定住ゾーンでは、各地区の土地改良事業を初めとする農業、農村整備事業を実施しています。自然環境保全ゾーンでは、桜山観光道路の整備や小平河川公園周辺整備事業を進めています。各事業につきましては、基本構想に定めた土地利用の基本方針に沿って、事業実施をしていきます。これらの事業の進捗は概ね順調に推移しているものと思っています。



問 企業誘致をどのようにセールスするのか、企業からの問い合わせは有るのか伺います。

答 平成23年7月1日より三本木工業団地は公募いたしますが、ホームページや新聞、雑誌、ダイレクトメールなど各方

面からPR活動を行うほか、7月7日には藤岡商工会議所、鬼石商工会の協力を得て、藤岡市企業立地セミナーを東京銀座の群馬総合情報センター、通称ぐんまちゃん家において市長自らプレゼンテーションを行う予定であります。企業からの問い合わせは平成22年度で9件、平成23年度4月以降は7件です。平成23年度のこれまでの問い合わせ業種であります。製造業4社、医療関係1社、電気供給業2社であります。このうち、現在継続しているものは9件です。

問 県の介入を待たず市長の政治判断で進められた本事業の責任について考えを伺います。

答 7月1日から三本木工業団地は売り始めるわけですが、担当係も一生懸命やっております。みんなでのことについて取り組んでいきます。



議案等審議結果＜5月臨時会＞		
番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 5号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
報告 6号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
報告 7号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
報告 8号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認（全員一致）
報告 9号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認（全員一致）
報告 10号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度藤岡市一般会計補正予算（第5号））	承認（全員一致）
報告 11号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度藤岡市一般会計補正予算（第1号））	承認（全員一致）
第 59号	固定資産評価員の選任について	同意（全員一致）
選挙、選任		
第 1号	議長の選挙	（ 当 選 ）
第 2号	副議長の選挙	（ 当 選 ）
	常任委員会委員の選任	（ 選 任 ）
	議会運営委員会委員の選任	（ 選 任 ）
第 3号	多野藤岡医療事務市町村組合議会議員の選挙	（ 当 選 ）
第 4号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合議会議員の選挙	（ 当 選 ）
第 5号	藤岡市・高崎市ガス企業団議会議員の選挙	（ 当 選 ）
第 6号	群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	（ 当 選 ）
議案等審議結果＜6月定例会＞		
番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 12号	平成22年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報 告
諮問 2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし（全員一致）
諮問 3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし（全員一致）
第 60号	藤岡市等公平委員会委員の選任について	同意（全員一致）
第 61号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員一致）
第 62号	藤岡市税条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 63号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 64号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決（全員一致）
第 65号	工事請負契約の締結の議決事項の変更について	可決（全員一致）
第 66号	市道路線の廃止について	可決（全員一致）
第 67号	市道路線の認定について	可決（全員一致）
第 68号	監査委員の選任について	同意（全員一致）
選挙、推薦		
第 7号	藤岡市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	（ 当 選 ）
	藤岡市農業委員会委員の推薦について	（ 推 薦 ）
請 願		
第 3号	「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める請願	不採択（少数）
議案等審議結果＜7月臨時会＞		
番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 13号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市税条例の一部を改正する条例）	承認（全員一致）
報告 14号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市都市計画税条例等の一部を改正する条例）	承認（全員一致）
第 69号	工事請負契約の締結について	可決（全員一致）
第 70号	工事請負契約の締結について	可決（全員一致）
第 71号	工事請負契約の締結について	可決（全員一致）
第 72号	工事請負契約の締結について	可決（全員一致）

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや、図書館・市役所相談室で会議録（9月上旬公開予定）をご覧ください。

市議会を傍聴しよう 問い合わせ 市議会事務局

☎ 221211 内線 2361

議会では3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。傍聴希望者は、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

編集後記

4月に統一地方選挙、7月に群馬県知事選挙と一連の選挙も終わり、6月議会は、4月の藤岡市議会議員選挙後最初の定例会となり、22名の議員が新たな気持ちで臨み、議会も本格的にスタートしました。

6月定例会では、一般質問に9名の議員が市政の基本方針や政策に対し、活発な質疑を行い、7月の臨時会では、4つの小学校の校舎の大規模改修建築工事請負契約の締結について、議決を行いました。

今後、市民の皆様にも議会活動を分かりやすく伝えるようにしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願っています。

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
青木 貴俊	渡辺 新一郎	渡辺 徳治	岩崎 和則	佐藤 淳	千枝子	隅田川 徳一